

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は、2022 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、本競技会要項及び競技注意事項を適用する。

2. 練習について(監督・コーチ 3 名以内と選手で行い、他の指導者・保護者は指導出来ない)

- (1)練習は日程に示された時間・場所で競技役員の指示で行う。練習については適宜放送で通知する。天候等により競技場外で練習するように指示する場合もある。(テント設営のため)
- (2)投てき・跳躍種目は、機材の準備後と招集後、係員の指示に従って練習できる。
- (3)練習場所と時間は日程を確認すること。

3. 招集について

- (1)招集については男子更衣室で行う。コンバインド 2 種目目については現地招集とする。
- (2)招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始の 15 分前	競技開始の 10 分前
フィールド競技	競技開始の 30 分前	競技開始の 25 分前

※ プログラム内の「競技日程」のページに記載しているので確認すること。

(3)招集の手順

- ①競技者は、出場種目の招集開始時刻までに招集場所(男子更衣室)で待機する。
※ 雨天の場合はテントを用意するが椅子は準備しない。また、新型コロナウイルス感染予防のため、招集場所ではマスクを着用し短時間での集合・確認・移動を徹底する。
- ②競技者は、招集完了時刻には現地で待機し最終点呼を受ける。その際、係員にアスリートビブスと競技用靴及び衣類の商標の確認を受ける。
- ③出場種目が複数の場合はトラック優先。出場する種目の開始時間が重なる場合は、2 種目出場確認書をフィールド審判に必ず提出すること。(徳島市陸協HP掲載分を印刷すること)
- ④リレー種目においては、招集完了時刻の 1 時間前までに受付で所定のオーダー用紙に記入し、受付前の記録係指定のかごに入れること。(1 チームにつき 2 部提出)
なお、受付にも所定のオーダー用紙は置いておく。
- (4)招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- (5)招集場所へは、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

4. 競技運営について

- (1)短距離走では安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- (2)トラック競技でセパレートレーンを使用する場合は欠場者のレーンはそのまま空けておく。
- (3)トラック競技の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順序で表す。
- (4)男女のトラックレースは、全てタイムレース決勝とする。
- (5)競技者は、その競技をする以外トラックや及びフィールドに立ち入ることはできない
- (6)競技者に対する助力については十分気をつけること。(競技規則第 143 条)尚、同第 117 条に黄色カードの掲示による警告、赤色カードの提示による失格退場となる項が規定されている。
- (7)小学生の不正スタートについては、不正スタート 1 回のみとし、その後不正した競技者はすべて失格とする。(旧ルール)
- (8)フィールド種目は全て試技 2 回とする。
- (9)走幅跳では主催者が提供したマーカーを助走路外に置くことができる。走高跳では助走や跳躍の際、主催者が承認したものを置くことができる(マーカーは薄く且つ競技者が踏んでも支障のないものであること)。
- (10)コンバインド種目の得点は 2022 年度改訂版得点表を使用する。ただし、DNF・DQ・NM においても参加点 50 点を加算する。
- (11)100m はゴール後必ずバックストレートを通してスタート位置に戻る。

5. 競技場への入退場について

- (1)競技場への入場は中央入口のみとし、退場は中央入口と第 1 コーナーの退場専用口とする。
競技者は審判員の指示に従い、入退場すること。
- (2)競技場内では静かに行動し競技進行の妨げとならないように注意すること。

6. アスリートビブスについて

トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を各チームで用意し、ランニングパンツの右側の上部やや後方につけること。

7. 走高跳のバーの上げ方について

種目	練習	1	2	3	4	5	6	4回目以降
走高跳	0.80・0.90	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1m25までは5cmごと
男女共通	1.10・1.20							それ以後は3cmごと

※天候などの条件により審判長の判断により変更する場合がある。

8. 用器具について

競技用具は、主催者が準備したものを使用すること。

9. 記録証について

全ての種目の上位8位まで記録証を授与する。(但し、リレーは3位まで)

10. 抗議について

競技結果または競技実施に関する抗議は、同じラウンドで競技している競技者またはチームに限る。競技規則第146条に従って定められた時間内に、競技者またはチームを正式に代表する者が審判長(本部席の担当総務員)に対し口頭で行い、指定された控室で待機する。

11. 個人情報の取り扱いについて

- (1)主催者は、個人情報保護に関する法律を遵守して個人情報を取り扱い、公式ホームページその他の競技運営等に利用する。
- (2)大会の映像・写真・記事・個人情報は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラムやポスター等の宣伝材料、テレビ・新聞・インターネット等に掲載することがある。
- (3)大会映像は主催者の許可無く第三者がこれを使用すること(インターネット配信等)を禁ずる。

12. 映像・動画・画像の二次使用について

本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、及びテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。

13. 撮影禁止場所について

トラック及びフィールドのスタート地点後方は、撮影禁止エリアとします。撮影禁止エリアで撮影行為を発見した場合、または、エリア以外でも不自然な撮影行為や盗撮が疑われる場合は、競技役員が撮影内容を確認し、盗撮を発見した場合は直ちに警察に通報します。(別紙参照)

14. その他

(1)救護について

競技中の傷害については、主催者が応急手当ををするがその後の処置については、スポーツ傷害保険による。なお当協会は、この保険への加入を義務づけている。

- (2)緊急事態発生の場合は、審判長や医師の判断により競技を中止することがある。
- (3)競技者は、2022年度徳島陸協の登録者であること。
- (4)競技場は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず各自で処分すること。また荷物等は各自が責任を持って管理し、盗難には十分注意すること。
- (5)悪天候等の理由により競技会が競技開始後に中止になった場合、参加料の払い戻しは行わない。
- (6)プログラムは1冊500円で販売する。

15. 新型コロナウイルス感染拡大予防について

- (1)芝生席での密集を可能な限り防止し間隔をあけて下さい。

①アリーナへの入場は監督1名・コーチ2名(配布済みビブスを着用し、**招集完了後は選手との接触はしないこと。アリーナ内での撮影厳禁。**)と選手及び正装した審判のみとする。それ以外の方は、間隔を取り、スタンド席及び芝生席で観戦して下さい。

②応援は拍手のみ。声を出しての応援は厳禁とする。

- (2)競技者・大会関係者の方へ

徳島陸協または徳島市陸協HPに掲載される注意を必ず確認し、その指示に従うこと。

①体調管理チェックシートの提出

②大会後2週間の体調管理

③短時間での競技会開催にご協力下さい。

④急遽の中止についてはホームページで周知致しますので、必ず事前にご確認下さい。